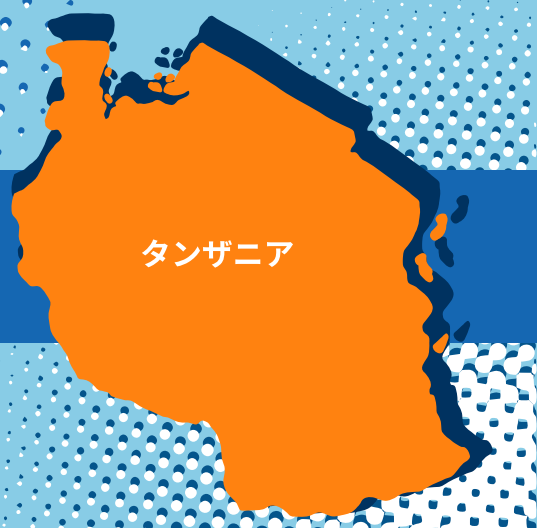
From
the People of Japan

タンザニア平和維持訓練センターの能力開発支援



- **プロジェクト期間：** １年間
- **パートナー:** タンザニア平和維持訓練センター
- **予算:** $130,000 （うち日本政府からUS$ 100,000、UNDPの基本資金からUS$ 30,000）

タンザニアは現在、国家の安定と発展を脅かすさまざまな課題に直面しています。これらの課題に対応するには、平和維持能力の向上やガバナンス体制の強化が求められています。

タンザニアの国境は、周辺国の影響を受けやすく、特にモザンビークのカボ・デルガード州で続く紛争や、ケニア、ウガンダ、ブルンジにおける不安定な政治状況によって、国全体の安定が脅かされています。さらに、タンザニアは現在、コンゴ民主共和国およびブルンジからの約25万人の難民を受け入れています。多くの難民が流入することで、食料・医療・住居などの資源が不足し、受け入れ地域の住民との間で競争が生じ、社会や経済にさらなる混乱をもたらしています。

2024年8月、タンザニア大統領はSADCの安全保障協力議長に就任し、地域安全保障での存在感を高めています。SAMIMやMONUSCOなどのミッションを含むAPSA（アフリカ平和安全保障アーキテクチャー）の枠組みのもとで、平和維持活動に大きく貢献してきたにもかかわらず、タンザニアはこれらのミッションからの撤退後、重要な能力強化の課題に直面しています。ISIS-モザンビークやコンゴ民主共和国のADF（反政府武装勢力）など、新たに現れている脅威を効果的に監視するためには、タンザニアは監視能力の強化に加え、平和維持要員の訓練の充実、政府機関同士の連携の促進、そして最新の機器への投資を進めていく必要があります。

目的

タンザニア平和維持訓練センター（TPTC）は、以下の取り組みを通じてその能力強化を図ることを目的としています。

- 市民による平和維持活動、警察などの法執行機関、CSO（市民社会組織）を対象とした、TPTCの訓練対象範囲の拡大。また、平和維持訓練のために、シミュレーション機器を含む最新の訓練機器を導入。
- PKO（平和維持活動）に関するジェンダーの視点を含む平和と安全保障の訓練の提供による、TPTCの制度的能力の強化。

プロジェクトの成果

- TPTCの平和維持活動に関する訓練能力の強化。
- TPTCの講師による、平和維持活動における医療支援、女性の平和維持活動への参画に関する専門的訓練の実施能力における知識とスキルの向上。
- TPTCで、市民による平和維持活動訓練の導入。

SDGsへの貢献

5 GENDER EQUALITY

16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS